

事務事業	12002	福岡県地球温暖化防止活動参画事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
------	-------	------------------	-----	-------	-----	-------

計画 画期 体計 系画	施策	12	自然環境を維持し、保全するまちをつくる	予 算 科 目	会 計		
	取り組み方針	370	自然保護に対する町民の意識を高める		款		
法令根拠条例等				個別計画			

実施期間 30年度のみ 単年度繰返 H17 年度より開始 期間限定(複数年) 年度～ 年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
地球温暖化対策の推進に関する法律第23条の規定により、県知事から地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受けた者が、温室効果ガスの排出の抑制等のための措置についての調査や、地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う住民に対し、当該活動に関する情報の提供等を行っている。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		
地球温暖化対策の推進に関する事務及びデータ等の調査		
		千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 地球温暖化対策の推進を図るための情報提供を行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	町民
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	省エネ・新エネについて理解を深める

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値		
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 研修回数	回	1	1	1 (見込)
イ				(見込)
ウ				(見込)
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 人口	人	45,757	46,016	46,087 (見込)
イ				(見込)
ウ				(見込)
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
名称	単位	29年度	30年度	31年度
ア 広域での情報交換回数	回	目標	5	5
		実績	2	2
イ 啓発活動件数	件	目標	2	2
		実績	2	2
ウ		目標		
		実績		
エ		目標		
		実績		
オ		目標		
		実績		

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	333	402	367	386		
	トータルコスト(A)+(B)	333	402	367	386	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成17年度に福岡県知事から地球温暖化防止活動推進員の委嘱を受ける。	変化なし。	変化なし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	本事業から得た情報を活用し地球規模での活動であるので、今後も積極的な啓発活動を行う必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	省エネ新エネの推進は、地球温暖化の防止につながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	地球温暖化防止活動は、自然にやさしいエコのまちという政策目標に沿っている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	意識を高めるためのホームページや広報での啓発活動を行うことで、成果向上を図っていく。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	町での啓発活動を行っているので影響はないが、福岡県全体の取り組みであるため、参画しないのは好ましくない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	費用は発生しない。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

本事業から得た情報を活用し地球規模での活動であるので、今後も積極的な啓発活動を行う必要がある。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果 本事業から得た情報を活用し地球規模での活動であるので、今後も積極的な啓発活動を行う必要がある。
---	---